

一 笹ノ露 刀ノ名

○天祥院殿の時召抱てんしょういんヘラレシ田中伊織でんざえもん ソノ子傳左衛門ト称セシハ 子孫代々ニ仕ヘタリシガ 予ガ代トナリ故アリテ暇遣シタリ 彼先ハ関原御陣ノ後落人 三成ヲ生捕タル者ニソ 世皆ヨク姓名ヲ識ル所 暇遣ハセシ者モ亦傳左衛門ト称シキ 家ヲ出去ルいせどりキ遣シ眞まことシ一ツノ刀アリ 今流轉るてんソ川崎某ト云者所持ス 即ソノ圖ト所傳しよてんノユエヲ集録ス

中略

コノ刀ヲ田中ガ家ニ傳ヘシハ 始メ神祖ヨリ賜ハリシ物ト云 其賜ハリシ故ハ 三成敗北ノ後尾州郷戸川ノ川辺蘆中ニ隠レ居シヲ 田中兵部大輔生捕テ上ル 因テソノ御賞トメ田中ニ賜ハリシ物ト 又コノ刀ノ故ハ 三成捕ハル、キ從士二人随ヒキタリシガコレヲ見テ手剛ク働シニ 竟ニカナハズメ三成擒レタリ コノキ三成帶キタリシ刀ヲ形身トメ彼從士ニ與あたヘタルヲ取傳ヘリト 暇遣タル傳左衛門ガ語レリ

中略

又家中先祖書ニ

天祥院殿ノキ召抱ラレシヲ田中伊織ト称シ 生國近江 大阪御陣ノキ手首尾 有リト見ヘ 其子傳左衛門ト称ストアレバ 正シク関原ノキ傳左衛門ト称セシ者 後伊織佐ト云シナルベシ サレバ此刀ハ兵部大輔力勲賞ノ物ナルヲ カノ生捕ノ手柄ニ傳左衛門ヘ傳ヘタルナラン

又コノ刀ノ鍛冶ヲ田中ガ傳ヘシハ京信国ナルヨシ 然ルヲ當所持とうしよじノ者本阿弥氏かんヘ鑿セシメタルニ 日備後國具正真ト見エテ金拾枚ノ代付クベシト 為レバ

作者モ違ヘルカ 古刀大全備後刀ノ條 古三原正家ノ系ニ 正真 貝三原ト云 木梨正近ノ子ト見ユ 此人ナリ

又今主ノ言ニ 刀直焼ニテニエ少クニホヒ勝がちノ出キナリ 地鉄至テコマカニかねソ金強つよニ見ユト 中略

又田中ガ傳ヘシ話ニ 彼ガ前代ソノ若黨不埒わかちうふらちノ一アリテ見逃シ難ケレド 主ハ不在ナレバソノ妻コノ刀ヲ以手討セシニ手ニコタヘズ 若黨ハ急ギ戸ヲ開テ逃去リケレバ妻ハ心ナラズメキタリシガ 門外四五間ノ堀ニ行當リ袈けさカケニ離レテ斃たおレタリトゾ 是ラ笹ノ露ト云フ興リカ

又コノ田中氏當家ニ仕テ 伊織ヨリノ後代々ノ一ヲ見ルニ浮沈ふちんじつ一ナラズ 遂ニ予ガ代トナリ家ヲ出テ零落セリ石田ガ怨ナキニアラス

平成二十七年八月一日

其阿彌秀文 編修